



ふくもっちゃんの部屋 ～文学賞～

日本の文学賞というと芥川賞・直木賞や本屋大賞など是有名ですが、文豪の名前を冠したものから、ジャンルがしぼられているものまで、様々な文学賞が存在します。
今回はその一部を受賞作とともに紹介します。

主な文学賞と2024年の受賞作

○谷崎潤一郎賞

幅広いジャンルで活躍した谷崎の業績にちなみ、時代を代表する優れた作品に贈られる。
『続きと始まり』柴崎 友香 著

○メフィスト賞

エンタテインメント小説が対象。
『死んだ山田と教室』金子 玲介 著

○三島由紀夫賞

文学の前途を拓く新鋭の作品に贈られる。
『みどりいせき』大田 ステファニー 歓人 著

○江戸川乱歩賞

推理小説が対象。
『遊廓島心中譚』霜月 流 著
『フェイク・マッスル』日野 瑛太郎 著

○大宅壮一ノンフィクション賞

ルポルタージュ・旅行記・伝記等のノンフィクション作品全般が対象。
『鬼の筆』春日 太一 著
などなど・・・

インターネットサービスの「福島市立図書館蔵書検索」の詳細検索では、検索条件で「書名／タイトル」を「賞の名称」に変更すると、受賞作に絞って検索することができます。今年はどんな作品が受賞するのか、今から楽しみです！

≪蔵書検索≫



図書館カレンダー 1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

図書館カレンダー 2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

■ 印は休館日

○ 印は「ふくよみの日」貸出2倍デー

2025年1月4日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023
発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

≪図書館ホームページ≫





福島市西口ライブラリー広報

西口ライヴ発信

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

2025年
1・2月号

新着本案内



『風呂と愛国』

川端 美季 著

NHK 出版(498-カワバ)

日本人が持つ「毎日風呂に入ることは当たり前」という感覚はどのようにして形成されたのか。江戸期に繁盛した湯屋や欧米の影響を受けた公衆浴場、清潔な国民であることの重要性を説いた修身教科書など、日本人と風呂の関係を探ります。



『君と翔ける 競馬学校騎手課程』

蓮見 恭子 著

祥伝社(PF-ハスミ)

騎手だった父をもつ祐輝は、将来に不安を抱えながらも競馬学校へ入学する。そこで出会った個性豊かな同級生たち。彼らもまた悩みを抱えていた。時に喧嘩し励まし合いながら、5人は成長していく。厳しい競馬学校での日々を描く。



『おうちスコーン図鑑』

稲田 多佳子 著／ナツメ社(596-イナダ)

特別な道具は使わず、ポリ袋に材料を入れて混ぜるだけで、簡単にスコーンの生地が出来上がり。プレーンなタイプから、デコレーションされた豪華なものまで、バラエティに富んだ64種類のスコーンの作り方が載っています。



『僕は猛禽類のお医者さん』

齊藤 慶輔 著

KADOKAWA(488-サイト)

北海道にある「猛禽類医学研究所」では、人間との関わりで傷ついた猛禽類の保護や治療を行っている。また、鉛弾で撃たれた獲物を捕食することで起こる鉛中毒を防ぐための鉛弾の規制など、人間と猛禽類が共存するための取り組みを綴る。



『はにわのヒミツ』

河野 正訓・山本 亮 著

新泉社(210.3-カワノ)

埴輪は古墳に立て並べるためにつくられ、墓に眠る王を守る役割があったと考えられています。最初期の円筒埴輪から国宝に指定された「挂甲の武人」まで、多種多様な埴輪の歴史や特徴を解説します。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

これ 1 冊でわかる! 蔦屋重三郎と江戸文化 伊藤 賀一 著／Gakken(289－ツタヤ)	宵闇色の水瓶 井上 雅彦 著／新紀元社(F－イノウ)
暮らしと物価の地政学 小山 堅 総監修／ナツメ社(333－クラシ)	代替伴侶 白石 一文 著／筑摩書房(F－シライ)
ホワイトカラー消滅 畠山 和彦 著／NHK出版(366－トヤマ)	司馬炎 塚本 青史 著／河出書房新社(F－ツカモ)
東大の先生! 文系の私に超わかりやすく算数を教えてください! 西成 活裕 著 郷 和貴 聞き手／かんき出版(410－ニシナ)	ポップ・フィクション 堂場 瞬一 著／文藝春秋(F－ドウバ)
東洋医学のやさしい教科書 三浦 於菟 監修／ナツメ社(490－トウヨ)	ファイナル・ウィッシュ 西澤 保彦 著／星海社(F－ニシザ)
津田蘭子の「ミシンの困った!」解決 BOOK 津田 蘭子 著／主婦と生活社(593－ツダラ)	サリエリはクラスメイトを二度殺す 額賀 濤 著／双葉社(F－ヌカガ)
きもの再入門 山内 マリコ 著／KADOKAWA(593－ヤマウ)	ヌートリア 三木 卓 著 小谷野 敦 編／田畑書店(F－ミキタ)
米ビジネス 芦垣 裕 著／クロスメディア・パブリッシング(611－アシガ)	グレートベイビー 新野 剛志 著／幻冬舎(PF－シンノ)
言語学者も知らない謎な日本語 石黒 圭・石黒 愛 著／教育評論社(814－イシグ)	社員食堂に三つ星を 山本 幸久 著／KADOKAWA(PF－ヤマモ)
まず良識をみじん切りにします 浅倉 秋成 著／光文社(F－アサク)	死はすぐそばに アンソニー ホロヴィッツ 著 山田 蘭 訳／東京創元社(P933－ホロビ)

作家と福 (Fuk) 服

着る物に妥協しなかった向田邦子は、仕事着も機能性を求めてオーダーメイドで仕立てるほどで、競馬の騎手が着用する服にちなんで“勝負服”と呼び愛用していました。自身のエッセイでは勝負服について、大きな襟はペンを動かす時に揺れるから嫌、柄は無地か単純でイライラしないプリントのものなど「体につかず離れずでなくてはならない」と独特のこだわりを語っていました。

彼女のこだわりが詰まった勝負服は、鹿児島県のかごしま近代文学館で見ることができます。このほか、向田家より寄贈された直筆原稿などの貴重な資料を展示しているので、向田作品が好きな方は一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

参考文献：『向田邦子おしゃれの流儀』向田 和子・かごしま近代文学館 編／新潮社（910．2－ムコウ）
『精選女性随筆集 11』向田 邦子 著 小池 真理子 選／文藝春秋（914．6－センセ－11）

ライブラリアンの

展示★名作案内

レッツ★スタディ ～本に学ぶ～



サーフィン・芝生・アニメも立派な学問です。

『世界のヘンな研究』
五十嵐 杏南 著
中央公論新社(002－イカラ)
世界には、風変わりなテーマの研究を学問として築き上げた多くの学者たちがいます。今まで学術的に研究されてこなかった分野から、その地域ならではの分野まで、ユニークな研究のきっかけや苦勞、成果などを紹介します。



成し遂げる強い意志がすごいです。

『明治を生きた男装の女医』
田中 ひかる 著
中央公論新社(289－タカハ)
女性には医術開業試験の受験資格がなかった中、お産で亡くなる命を救いたいと医者を目指した高橋瑞。医学校に直談判し女性の入学を認めさせ、女医への道を開拓した瑞の人生を中心に、女医たちの苦難の歴史をたどります。



漫画でわかりやすい!

『18 歳成人になる前に学ぶ契約とお金の基本ルール』
消費者教育支援センター 監修 さかなこうじ マンガ／旬報社(365－ジユウ)
成年年齢が引き下げられ、18歳から親の同意なしで様々な契約ができるようになりました。しかし、マルチ商法やデイト商法など契約者を騙そうとする悪質商法が数多くあります。本書では、その対処法や契約の基礎知識を詳しく解説します。



絶景の素晴らしさをより感じられる一冊!

『絶景の成り立ちを学ぶ』
山口 耕生 監修
世界文化社(450－ゼツケ)
グランドキャニオンやウユニ塩湖は、絶景の場所として有名です。では、どのようにして人々を魅了する景色となったのでしょうか。そこには地球の壮大な自然活動が深く関わっていました。大地・水など5章にわけて、成り立ちを解明します。



美しい所作は食事の時間をより豊かにします。

『いまさら聞けない 箸の持ち方レッスン』
中原 麻衣子 著
主婦の友社(596－ナカハ)
子どもから大人まで3千人以上を指導してきた「箸の持ち方教室」講師が、正しい箸づかいを教えます。持ち方、動かし方といった基本動作のトレーニングから、難易度の高い魚料理の食べ方など、実践的な内容まで網羅しています。